



●串間市立図書館
☎ 72-1177
●開館=午前10時～午後6時
●休館日=毎週月曜日
●HP = <https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

蹴れ、彦五郎(今村 翔吾/著)
号外!幕末かわら版(土橋 章宏/著)
恋ふるむ鳥は(澤田 瞳子/著)
凍る草原に鐘は鳴る(天城 光琴/著)
サウンド・ポスト(岩城 けい/著)
残星を抱く(矢野 純/著)
掬えば手には(瀬尾まいこ)
スマホになじんでおりません(群 ようこ/著)

「先祖探偵」
新川 帆立/著



風子は母と生き別れてから20年以上、野良猫のように暮らしてきた。風子が東京の谷中銀座の路地裏で開いている探偵事務所には、さまざまな先祖の調査依頼が舞い込み…。

「かみなり」
妹尾 堅二郎/監修



激しく光って、大きな音をとどろかせる雷。決定的瞬間をとらえた大迫力の写真で雷の秘密に迫る写真絵本。「雷写真コンテスト」入賞作品から厳選した美しく貴重な写真が満載。

「少女たちの戦争」
中央公論新社/編



若い兵士に言えなかった「サヨナラ」の一言、東京大空襲の翌日に食べた最後の昼餐…。瀬戸内寂聴から佐野洋子まで、太平洋戦争開戦時に20歳未満だった女性たち27名が、非常時の日常をつづる。

イベント情報

お化け屋敷 & こわいおはなし会

●日時= 8月5日(金) 午後6時～
●参加費=無料(要申し込み)
※小さなお子さんは保護者同伴をお願いします。

もっと串間を知ろう!! 高松でシーカヤック体験

●日時= 8月21日(日) 午前9時半集合
●場所=高松キャンプ場
●参加費=1人1,000円(要申し込み)
詳細は図書館までお問い合わせください。



蒸し暑い熱帯夜が続くと寝不足で体がだるくて疲れがとれず、毎年夏は悩みます。また冷房の中での仕事も、外に出たときとの温度差に負担がかかります。

さて、7月に串間市議会串間市交流促進調査特別委員会と東九州自動車道の要望活動に福岡県にある国土交通省九州地方整備局などを訪問しましたが、その際、九州電力送配電株式会社にも表敬訪問いたしました。本市が豊かな自然環境を生かした再生可能エネルギーを供給しているまちであることや、これから目指していく方向性などについて、意見交換を行いました。ひっ迫する電力供給の維持存続については喫緊の大き

な課題であり、そのためには「ゼロカーボンシティ」を宣言している本市としてもしっかりと取り組んでいく必要があります。

また、本市の豊かな自然のことでいうと、「市民が100年健康でいきいき暮らせるまち」を推進していくためにも自然を生かした健康づくりが重要であると考えます。豊かな自然を生かした安全な自然食材を作り育て、健康を求める人たちに供給を行う。人間の細胞の活性化を図り100年維持できる体調を整えるためには、森林の持つエネルギーと健全な食料生産、健全な生活環境を求めていかなければなりません。元気な体で人生100年時代を生きていくために。

今年の梅雨は短く、6月の最高気温を更新した地域があったり、北海道も九州と変わらないような気温であることなど、温暖化は生息する植物や生き物、われわれ人間にも大きな影響を与えています。この異常ともいえる暑い夏の今、改善する対策を皆で考え、取り



組んでいかなければなりません。

夏になると、炎天下の中で大粒の汗をかきながら夏の早期水稲の刈り入れが大変だったことを思い出します。涼を求めるために日陰に入れば、やぶ蚊に襲われる苦労もありました。そのような苦労がありながらも、われわれは自然と共存していかねばなりません。自然の力を維持持続させるためにも持続可能な社会構築を求めたいものです。

昨年7月から「みやざき農業実践塾」での農業研修をスタートさせて1年が経ち、やっと串間に帰ってきました。ホームシックなんて昔は感じたことがなかったけれど、串間には早く戻りたいと思いつつも、作物の命を預かっているのです。集中して研修を頑張っていました。そのかいもあり、これまでの実践塾の研修生の収穫量は、県指針と同等が最高値だったのですが、今回はその収穫量の125%超えと大幅に更新し、先生方にも驚かれる成果を収めることができました！ですがこの結果を得られたのは、ここに来る前の1作の間に串間のピーマン農家で研修し、栽培の理論や知識、技術などさまざまな事を教えていただき、その考えを持って臨んだからに他なりません。やはり、ある程度の知識を得て栽培をするのと、何も知らずに栽培をするのでは結果が大きく変われることを実感しました。

僕は耳から入った情報を知識として定着させることは得意ではなく、実際に手を動かして理解するやり方が



No.64 過程あってこそその成果



合っています。今回の研修でも実際に手を動かしながら考え、理解を深め、自分なりの答えを模索し、体に染み込ませることができました。そして、「やってみたらこそ疑問に思うこと」、「今後の課題として考えないといけないこと」も見えてきました。それについては就農してから向き合いたいと思いますが、問題の洗い出しが就農前にできただけでも大きな収穫です。

さて、今は研修も終わり、就農に向けてラストスパート中です。ほ場の準備やハウスの修繕など時間が足りませんが、最善の定植を迎えられるように、この猛暑?酷暑?に負けないように頑張りたいと思います。

また、就農の目標に向けて途中段階ですが、僕が就農できるように頑張りたいです。心配して声をかけた方々、たくさんの方々が関わってここにいるのだなと思うと、見知らぬ土地で新規参入者が新規就農することの大変さを改めて感じ、感謝の気持ちいっぱい今日も鋤を振りかざして土を耕します。

SDGsの中身を見てみよう

SDGs「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)は17の目標からできていることを前回お知らせしました。今回から、その中身について順番に見ていこうと思います。

1. 貧困をなくそう

SDGsの17の目標の1つ目は「貧困をなくそう」です。まず世界の状況について見てみましょう。世界では1日1.9ドル(日本円で約209円)未満で生活しなければならない人たちが約7億人いると言われており、そのうち半分が17歳以下の子どもたちです。では日本ではどうでしょうか。ユニセフの調査によると日本でも7人に1人は相対的貧困状態であるとの結果が出ています。このような家庭では食事が満足にとれず子どもは給食が頼りになっていたり、適切な教

育をすることができないなどの状況に陥っています。このような貧困を2030年までに無くしていくことが目標です。

2. 飢餓をゼロに

目標2の「飢餓をゼロに」は飢餓をなくすことに加えて、持続可能な農業の促進がテーマとなっています。現在、世界中で約8億人が飢餓で苦しんでいると言われていて、これは9人に1人が飢餓で苦しんでいることとなります。そしてこの数字は今後、世界の人口増加に伴って急速に増えていくと予想されています。飢餓をゼロにするためには、食糧の安定確保が必要不可欠であり、そのために、持続可能な農業の促進が必要となってきます。

【問い合わせ先】
総合政策課企画係 ☎ 55-1152

3. すべての人に健康と福祉を

目標3は「すべての人に健康と福祉を」です。世界では貧困などの影響から医療体制が不十分な国は数多くあります。では日本ではどうでしょうか。日本では多くの病院があり、医療体制が充実しているため関係がないと思われがちですが、都市部に病院が集まり、田舎では病院が少ないといった地域格差があります。これと同様なのは世界中で起きており、医療の格差は世界共通の問題なのです。このような地域や国、貧富の違いによる医療格差をなくし、世界で医療や福祉が充実することで、すべての人々が健康に生活できることが重要であるため、この目標が作られました。今回は17の目標のうち3つの目標を解説しました。次回も目標の解説を行っていきたいと思います。

